

獨協大学英語教育研究会 (DUETA) ワークショップをハイブリッド形式にて開催

3月11日、獨協大学英語教育研究会 (DUETA) 主催の第12回ワークショップ『深い思考を促す言語活動の指導と評価』が対面とオンライン併用のハイブリッド形式にて開催された。講師は、大久保泰希氏 (群馬県立高崎高等学校教諭、本学卒業生) が務め、およそ70名が参加した。参加者からは、「学校教育で英語力をつける実践を見せていただきました」「英語教育を通して、思考力を身に付けることができることを再認識させていただきました」といった声が寄せられた。



キャリアセンターにオンライン就職活動用の完全個室ブースを設置

キャリアセンター事務課は、キャリアセンター内にWEB面接用の完全個室ブース「テレキューブ」を3台設置した。

就職活動のオンライン化に伴い、学内で集中してWEB面接等を受験したいという学生からの要望に応える形でコンセント、照明、防音環境を備えた1人用の個室の導入が実現した。3月22日から利用受付が開始され、連日多くの利用者が訪れている。

大田裕子キャリアセンター事務課長は、「今後も多くの企業が選考方法の一つとしてWEB選考を継続していくと思われます。今回、設置した個室ブースは選考に集中する環境が整っているので、ぜひ利用していただき、内定に繋げて欲しいです」と在学生にエールを送った。



全学共通カリキュラム 外国語科目群「英語」部門 非常勤講師を対象としたFDミーティングを実施

3月24日、全学共通カリキュラム「英語」部門 (全カリ英語) の非常勤講師を対象としたFD (ファカルティ・ディベロップメント) ミーティングが開催された。

「全カリ英語」は、外国語学部ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部の学生が履修する共通の英語カリキュラムであり、このミーティングは教育の充実を図るために毎年3月に開催されている。今回は51名の担当教員が参加した。

プログラムに参加した教員からは、「たくさんの先生方と研修を通じて普段どのように授業を行っているのか情報共有ができた。より良い授業を考える際のアイデアももらうことができ、とても良い機会だった」との感想が寄せられた。



クラブ・サークルが 新入部員を募集中

獨協大学の29の文化会団体 (部)、39の体育会団体 (部)、42の愛好会団体 (サークル) では、現在、新入部員を募集している。

各団体の情報は、以下から取得可能。

- 大学ホームページでどんな団体があるか調査
トップページ ▶ 学生生活 ▶ クラブ・サークル
- 冊子『雄飛』で団体の活動を確認
- 獨協大学学友会新入生歓迎ページ (二次元コード) をチェック
- 学友会事務課 (学生センター3階) スタッフに相談



学生支援室を 天野貞祐記念館1階に開設

学生支援室は障がいのある学生の相談窓口です。障がい学生支援コーディネーターが、学修や学生生活に関する相談を受け付けます。まずは、下記二次元コードまたは大学ホームページからご連絡ください。

■ 受付時間: 月～金 9:00～17:00

■ 場所: 天野貞祐記念館1階・キャリアセンター隣

■ 支援に関するお問い合わせ:

大学HP ▶ 在学生の方へ ▶ 障がいのある学生支援 ▶ 在学生用お問い合わせフォーム



詳しくは大学HPをご覧ください。



オープンカレッジ特別講座 「シェイクスピアとイギリスのナショナリズム」

3月18日、W-103教室にてオープンカレッジ特別講座を開催した。講師は前沢浩子外国語学部教授。事前申込制で抽選に通った170人が来場し、併用したオンライン配信では215人が受講した。

講座では、16世紀から現代まで、イギリスを3つの時代区分に大別し、各時代におけるシェイクスピアの受容や位置付けを考察した。具体的な作品を挙げながらの解説や時代背景、社会事情に関する広範な説明は、一般的なシェイクスピア像を見直す機会になったようだ。

受講者は高校生から80歳代の幅広い世代で構成され、思い思いに大学の生涯学習講座を堪能した様子だった。



担当した前沢浩子教授

父母の会から 給水器、オープンレンジ、時計が 寄贈されました

3月13日、獨協大学父母の会から、学生の生活環境の充実及び本学SDGs推進活動を支援するため35周年記念館アリーナに「給水器」が寄贈されました。これで本学における給水器の設置は学生センター1階、中央棟1階、コミュニティスクエア(2台)に続き5台となりました。また、コミュニティスクエア竣工記念品として、カフェラウンジに「オープンレンジ」と「時計」が寄贈されました。田口裕美子父母の会代表幹事は「これからも父母の会は学生の皆さんが快適な学生生活を送れるよう支援していきたい」と語っていました。



2023年度入試状況報告

2023年度の獨協大学入学志願者数が確定した。11月に実施した、いわゆる年内入試と言われる「学校推薦型選抜、総合型選抜、その他選抜」では、合計1,167人(前年度1,130人)の志願者数となった(編入・再入学は含まず)。また一般選抜においては、合計で18,390人(前年度18,499人)の志願者数であった。年内入試と一般選抜を合計すると、全体で19,557人(前年度19,629人)となった。ここ数年、受験生の年内入試志向が高まっているが、本学でも年内入試の志願者数が増えていく傾向にある。

指物敏一入試課長は「2024年度入試に向けては、受験人口の減少が更に進み厳しい受験環境となるが、引き続き受験生の視点に立った入試制度改革を推進するとともに、オープンキャンパスやSNSなども積極的に活用しながら獨協大学の魅力を伝えていく。ぜひ、在学生の皆さまにもお力添えをいただきたい」と語っている。



2022年に行われたオープンキャンパスの様子

学生のキャンパス入構とマスク着用について

5月8日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更となる。それに伴い、対面での講義等も増え、学生たちでキャンパスが賑わいを見せている。

マスク着用に関する、国の方針は、個人の判断に委ねることを基本としており、学校においては4月1日から適用となった。本学では、当面の間、着用を推奨しつつ、本人の意向を尊重し、マスクを外すことを妨げないものとしている。5月8日以降の対応については、随時、大学ホームページ、ポータルサイト「PorTaII」で情報発信していく。



卒業生の寄付金により、 コミュニティスクエアが充実

獨協埼玉高校、獨協大学ご出身の卒業生から獨協学園に対して多額の寄付があり、本学のコミュニティスクエア「カフェラウンジ」設備の充実に充てられました。

メインのキャンパスでは実施が難しい活動等を行うことができる「コミュニティスクエア」。多目的利用のための施設として、ホール、ワークラボの他、アイランドキッチン等を備えたカフェラウンジを設置。新たな環境でのゼミ、学友会活動、地域連携を図るイベント等の利用が期待されています。

同施設の詳細は、12ページをご覧ください。



進路選択を行う学生に対する キャリアセンターの支援体制

キャリアセンターでは皆さんの進路選択をサポートする様々な取り組みをしています。窓口相談やガイダンス・講座への参加など積極的に活用して下さい。PorTaII、LINEにて具体的な内容を連絡しますので、最新の情報を必ず確認してください。LINE登録についてはガイダンス・講座、キャリアセンターにてお知らせします。キャリアセンターは皆さんの進路選択をしっかりサポートしていきます。

キャリアセンターの主な就職支援 (4月1日現在)

- ・相談(対面/WEB)
- ・OB・OG情報照会(対面/WEB)
- ・資料閲覧
- ・就活に関するガイダンス(対面/WEB)
- ・求人情報の掲示と配信(PorTaII)
- ・就職活動体験記の配信(PorTaII)
- ・WEB個室ブース(テレキューブ)
など